

(様式3)

事業所名 グループホーム田沢の家

目標達成計画

作成日: 平成 24 年 1 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	認知症についての相談を受けたり、介護の実際をみていただく機会をつくったりしているが、受身の体制が多い。	認知症の専門性のある事業所を活かし、地域のための事業所を目指す。	広報作成等でのアピールを行う。 隣接町内との交流会や、介護支援教室を行ってみる。	12ヶ月
2	34	ひやりハット報告での事故未然防止の話し合いはよく行っているが、事故を想定しての対応を考える。	急変時や事故のシミュレーションを行い、対応策を考える。 職員一人ひとりの意識づけを行う。	急変時の対応について、マニュアルの確認や、急変時の対応訓練を行う。 離苑防止対策について話し合う。離苑を想定した訓練を行う。 研修会の参加や、勉強会を行う。	12ヶ月
3	48 49	本人からの外出や行楽希望が少なく、作業なども消極的なところ多く、職員からの企画外出や、作業依頼が多くなってしまふ。	月に1度の外出の機会をつくる。 買い物外出や、自宅近隣者との交流を持っていただく。 買い物外出や、外食の機会を増やす。 職員との共同作業を増やす。	年間の外出計画の作成。 日常会話や生活歴などから、本人の出かけていた場所や交流者を探す。 ふれあいや観察により、本人のできる能力をみだし、一緒に行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。